

ちょっとした労いの言葉・心遣い

2 4 1 2 1 3

昨日の午後から、正門から武道場横を上がってくる坂道の垣根を剪定（せんてい）することになりました。幸田町教育委員会の教育長さんと教育部長さんから声を掛けていただき、教頭先生と一緒に4人で作業をしました。2時間ほどの作業で、正門からの通路はさっぱりとして、中央公民館から見える景色もとてもきれいになりました。教育委員会のお二人のお力で、学校をきれいにしていただき、とてもありがたかったです。学校を支えてくださる方が、こういった形でもいらっしゃるということを、みなさんにはぜひ知ってほしいと思っています。

さて、そんな作業をしているなか、保護者会でもあるので多くの保護者の方が横を通り過ぎて行かれました。なかには、「こういった作業を先生方やってみえるんですね。ありがとうございます。」と声を掛けてくださる方もみえました。また、下校時には幸中生が元気よく「さようなら」とあいさつをしてくれましたが、そのなかに「お疲れ様です。ありがとうございます」「寒いのにありがとうございます」といった言葉を添えてくれる子もいました。その添えられた短い“労いの言葉”は、心にじーんときました。ちょっとした一言を添えるだけで、こんなにもあったかい気持ちになれるんだと実感しました。



ちょうどあるクラスの学級通信にもこのような内容が書かれていました。

小学校の交流会のお礼の手紙ですが、とても素敵な気遣いがありました。手紙を見ると、漢字にフリガナをふっている人がいました。小学生が読みやすいように、考えて行動してくれたのかと思い、嬉しくなりました。こちらからお願いしたわけでもなく、おそらく付けた方が読みやすいかな？と思ってふってくれたんだと思います。とても素敵だなと思いました。

何気ないやり取りや、交わすあいさつに、ほんのちょっとした労（ねぎら）いの言葉や、心遣いを付け足すことを大事にしたいと感じる出来事でした。幸せな気持ちさせてくれて、ありがとうございます。